

5 漁業災害補償関係勘定

貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産		I 流動負債	
現金及び預金	23	引当金	
有価証券	340	賞与引当金	3
短期貸付金	5,485	その他の流動負債	1
その他の流動資産	27	流動負債合計	3
流動資産合計	5,875	II 固定負債	
II 固定資産		引当金	
1 有形固定資産		退職給付引当金	81
建物	1	固定負債合計	81
減価償却累計額	△ 0	負債合計	84
その他の有形固定資産	3	(純資産の部)	
減価償却累計額	△ 1	I 資本金	
有形固定資産合計	2	政府出資金	2,860
2 無形固定資産	0	地方公共団体出資金	1,438
3 投資その他の資産		民間出資金	1,523
長期貸付金	200	資本金合計	5,821
敷金・保証金	1	II 利益剰余金	
投資その他の資産合計	201	前中期目標期間繰越積立金	127
固定資産合計	203	積立金	46
		当期末処分利益	-
		(うち当期総利益)	-
		利益剰余金合計	173
		純資産合計	5,994
資産合計	6,078	負債純資産合計	6,078

1. 貸借対照表

- (1) 平成23年度末における資産総額は60億78百万円(13百万円減)である。主な内訳は、漁業共済団体に対する短期貸付金54億85百万円(13億80百万円増)、有価証券3億40百万円(13億90百万円減)である。
- (2) 負債総額は84百万円(6百万円増)である。主な内訳は、退職給付引当金81百万円(7百万円増)である。
- (3) 純資産総額は59億94百万円(19百万円減)である。主な内訳は、政府及び都道府県等からの出資金58億21百万円(増減なし)、利益剰余金1億73百万円(19百万円減)である。

2. 損益計算書

- (1) 平成23年度の経常費用は59百万円(6百万円増)、経常収益は40百万円(16百万円減)で、この結果、当期純損失は19百万円となった。これについては、前期中期目標期間繰越積立金を取崩して整理した結果、当期総利益は0円となった。
- (2) この主たる要因は、
- ・費用においては、退職給付引当金繰入が9百万円(5百万円増)となったこと
 - ・収益においては、事業収入が39百万円(13百万円減)となったこと
- 等である。

損益計算書

(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
経常費用		経常収益	
一般管理費		事業収入	
人件費	36	貸付事業収入	
直接業務費	1	貸付金利息	39
管理業務費	8	事業収入合計	39
賞与引当金繰入	3	財務収益	
退職給付引当金繰入	9	受取利息	0
減価償却費	1	有価証券利息	0
一般管理費合計	58	財務収益合計	0
財務費用	1	経常収益合計	40
経常費用合計	59	経常損失	19
臨時損失			
固定資産除却損	0		
臨時損失合計	0		
当期総利益	-	当期純損失	19
		前中期目標期間繰越積立金取崩額	19